

## 第 58 回名古屋高速道路公社運営会議議事録（要旨）

● 日 時：令和元年 7 月 12 日（金） 13:28～14:25

● 場 所：名古屋高速道路公社 本社黒川ビル 2 階大会議室

### ● 出席者

会長	愛知県知事	大村	秀章		
委員	名古屋市長	河村	たかし		
〃	東海財務局長	藤本	拓資		
〃	中部地方整備局長	勢田	昌功	(代理) 道路部長	池口 正晃
〃	名古屋商工会議所会頭	山本	亜土	(代理) 常務理事・専務理事	内田 吉彦
〃	名古屋銀行協会会長	中村	昭彦	(代理) 専務理事	野原 強
〃	名古屋高速道路公社理事長	新開	輝夫		

### ● 議事

- (1) 名古屋高速道路の現状について
- (2) 令和元年度予算について
- (3) 新たな中期経営計画（2019－2021）について

### ● 質疑応答

(中村委員代理 野原専務理事)

- 今回、策定された中期経営計画は、先行きの環境変化を見据えて、利便性、安全性の向上に繋がる対策が織り込まれており、時宜を得た内容になっている。
- 特に、2027 年のリニア開業に向けた都心へのアクセス向上は重要な課題である。駅前の複雑な工事で関係機関が多く調整が大変だと思うが、計画をしっかりと進めていただきたい。
- 金融機関もしっかりとサポートするので、大型の工事で資金需要が出てきたら、是非、民間の金融機関の資金を活用していただきたい。是非、新規の需要をお願いしたい。
- 新料金体系は、今年の秋に方針案が示されるとのことである。人手不足による物流コスト上昇もあり、需要に応じてきめ細かな料金設定が求められていると思う。金額の設定次第で需要そのものが変動するので、そのあたりを十分見極めて、償還計画に影響が出ないように設定をお願いしたい。
- 最近、AI やビックデータが話題となっている。渋滞予測や工事箇所の検討等にそれらの技術が有効かと思うが、何か新しい技術の活用について計画があれば教えていただきたい。今後、自動運転等の動きをにらんで、道路側でもインフラを整備する必要があると思うので、トヨタ自動車を始めいろいろな関係先と、従来以上に綿密な連携をとって対応していただきたい。

(新開委員)

- 新しい情報化の波に高速道路としてどのように取り組むかという点では、ETC2.0 という運転時に情報を取り込める規格の ETC に変えるよう努めており、しっかり整備していきたい。ETC2.0 はなかなか普及が進まないが、着実にやっていきたい。
- 自動運転はトヨタ自動車が力を入れており、愛知県においても自動運転等の研究会の取り組みがある。高速道路としてどういうことができるのか、その中の一員として積極的に協力しながら、名古屋高速のあり方を検討していきたい。

(山本委員代理 内田常務理事・事務局長)

- 名古屋高速は近年、交通量が大幅増加し、朝夕の都心環状線を中心に渋滞が頻発しており、速達性、定時性の観点から大きな課題である。2027年のリニアの開業を見据えると、名古屋高速が果たす役割はますます大きくなる。渋滞解消、安全対策、老朽化対策等解決に向けた積極的な対応をお願いしたい。
- 中期経営計画の中で、名古屋駅周辺交通基盤整備方針に沿って、高速道路の出入口の追加・改良が明記されている。名古屋駅、栄を活用する都心へのアクセス向上を始めとして、既存路線の車両処理能力を最大化する改良工事の実施は大変意義のあることなので、是非とも早期に実現をしていただきたい。
- あわせて、大規模災害の発生が危惧される中、修繕計画については、是非とも着実に実施し、高速道路の長寿命化を図っていただきたい。
- 料金制度の見直しについては、国土交通省国土幹線道路部会の中京圏小委員会で議論が進められているということである。人手不足の中ドライバーの確保に苦勞しながら、定時制を確保するため、経費がかさんでも高速道路を優先利用している私どもの会員企業である中小の運送業者の実態をふまえ、2点お願いしたい。1点目は、値上げを伴う場合は、大口・多頻度割引制度等の拡充で負担の軽減措置を講じ、中小の事業者にとっても、納得感がある利用しやすい料金制度での実現をお願いしたい。2点目は高速道路のネットワークを最大限に活用し、路線毎の交通量をできる限り平準化することで、渋滞緩和につながるような料金制度の導入をお願いしたい。

(藤本委員)

- 名古屋高速の交通量が年々増加する中、特に朝方の渋滞量が大きく伸びており、また、カーブ区間の車両単独事故件数は、中期経営計画で掲げた目標を上回って推移している。公社が基本理念として掲げる、安全・安心・快適な道路サービスを提供し、この地域の今後の経済的発展をインフラとして支えていくためにも、渋滞対策やカーブ区間の安全対策、自然災害への対応力向上は重要な施策であり、引き続き効果的な対策の実現に向けて取り組んでいただきたい。
- 都心へのアクセス向上の取り組みについては、リニア中央新幹線の開業を見据え、名古屋駅周辺交通基盤整備方針の具体化を図るべく、関係機関と調整のうえ、検討を進めていただきたい。
- 新たな料金体系への取り組みについては、名古屋都市圏の高速道路ネットワークは、都心部の名古屋高速と周辺部の中日本高速が管理する名二環及び伊勢湾岸道によって構成され、それぞれの高速道路が都心部の長距離自動車交通の分離機能や迂回機能を発揮し、一般道路を含めて最適な交通を分担することで、道路交通の円滑化の役割を担っている。より利用しやすい料金の実現に向けては、こうした機能が効果的に発揮されるとともに、より一層の高速道路の有効利用の促進が図られるよう、関係機関と連携して取り組まれることを期待している。

(勢田委員代理 池口道路部長)

- 3点、話をさせていただく。1点目はアクセスの改善についてである。今のネットワークの構造上、都心環状線を通らなければならない、それが都心環状線の多くの渋滞を引き起こしているということなので、出口の新設、西渡り線、南渡り線の整備によって機能向上させることは、非常に良い取り組みだと思う。是非、進めていただきたい。
- 2点目は料金の見直しについてである。現在、自治体や利用者団体のヒアリングが進められ、現状分析も進められている。そこで意見をいただきながら、有識者委員会の意見をいただいて、とりまとめるという方向であり、分析していただいた名古屋高速の特徴も踏まえて、どのよう

な形にするのかを、連携しつつ見させていただきたい。

- 最後に、メンテナンスについてである。我々も5年に1回の橋梁点検を進め、今年度で2巡目になっている。名古屋高速は管理している施設が非常に大規模であり、手遅れになると多額の予算が掛かることになりかねないので、サイクルに乗せて点検を実施し、少しでも維持管理費用を下げる工夫を我々と一緒に進めていただきたい。

(河村委員)

- 毎回言っているが、銀行は膨大な金余りの状況である。319億の借入金の返済は早く止めなければならない。利息は払わなければならないが、この地域が財政危機というのは事実と異なるので、ルールがあってできないというなら特区申請を出して、返済を止めて、道路を作ることを含め投資するようにならなければならない。返済は東京に銀行経由で金を寄付しているようなものである。
- 何か面白いことに投資してほしい。本当にリニアが大阪まで直通した時に、名古屋に停まってくれるのが非常に重要な問題。名古屋に一泊二泊していこうかというものを作らなければならない。
- 東名高速を作った時とは財政状況が異なっている。東名高速は、世界銀行から金を借りて作ったが、今は逆に貸す方なので。銀行も利息だけ返済してほしいのではないか。本当に特区申請を出したらどうか。

(新開委員)

- 道路はもともと無料であるところを、高速道路の建設には多額のお金がかかるため有料とするが、早く返済して普通の一般道路と同じにするという有料道路制度の大きな流れの中で、日本中の高速道路が作られている。利息だけ返済するという考え方も確かにあるが、早く無料にして、本来の道路管理者に引き渡すことが大前提である。元本を返済しないと、無料にして引き渡すのが延びていくが、それがいいのかどうかということである。
- やはり街づくりの事業というのは大事で、街がどのように変わっていくのかによって、道路も変わっていく。名古屋高速としては、国、県、市がどのような街にして、どのような面白いものを作っていくかの中で、道路もどのように繋いでいけばよいかを考えていく。特区申請は高速道路公社としてできるかどうかよく分からない。研究したい。

(河村委員)

- 淡水魚の水族館である「アクア・トト」は高速道路のすぐ横に有るが、道路の金では作っていないのか。特区申請があると思うが、本当に面白いので、やってやればいいと思う。銀行協会としてはどうか。

(中村委員代理 野原専務理事)

- 私どもは、制度について意見を申し上げる立場にはないので、制度に従って返済していただき、これから出てくるいろいろな大型工事で資金の活用をお願いしたい。

(大村会長)

- 皆様から多数の意見をいただいたので、しっかり受け止め、公社で検討していただきたい。説明内容については、委員の皆様にご理解していただけたのではないかと思います。
- 閉会にあたり一言述べさせていただく。本日説明のあった大規模修繕及び交通安全対策等については、新たな中期経営計画に基づき、今後とも確実に進めていただきたい。また都心へのアクセス向上への取り組みについては、関係機関との連絡調整を密にして、事業化に向けた準

備を進めていただきたい。

- 河村市長からいただいた意見は、投資を着実に実施しなければならないということだと思う。出入口の追加・改良、南渡り線、西渡り線ということで、相当大きな投資がまだこれからも続くので、リニアに向けて、間に合うように着実にやっていただきたい。
- 最後に名古屋高速は、名古屋都市圏の経済産業を支える基幹的な道路網なので、今後もますます期待される役割をしっかりと果たしていけるように、皆様の一層の支援をお願いしたい。